

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(令和7年4月分【埋立中共通調査】)

【大気質、水質（一般項目）、騒音・低周波音】

国 土 交 通 省 近 畿 地 方 整 備 局

大 阪 港 湾 局

大 阪 湾 広 域 臨 海 環 境 整 備 セ ン タ ー

目 次

I 事後調査の概要

1. 調査概要	I - 1
2. 工事の実施状況	I - 3
3. 調査結果の概要	I - 4

II 事後調査結果

1. 大気質	II - 1
2. 水質	II - 9
3. 騒音・低周波音	II - 10

I 事後調査の概要

1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく令和7年4月（大気質、水質、騒音・低周波音）の事後調査の概要は表-1に、調査地点の位置は図-1に示すとおりである。

表-1(1) 事後調査の概要（埋立地周辺における調査 大気質）

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO ₂) 窒素酸化物(NO ₂ 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	4月1日～30日	通年連続

表-1(2) 事後調査の概要（埋立地周辺における調査 水質（一般項目））

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全燐(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	4月17日	1回／月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質量(SS) クロロフィルa			

表-1(3) 事後調査の概要（埋立地周辺における調査 騒音・低周波音）

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
騒音レベル 低周波音圧レベル	1点 野鳥園臨港緑地(南港野鳥園)	4月21日～22日	2回／年 (4月、10月)

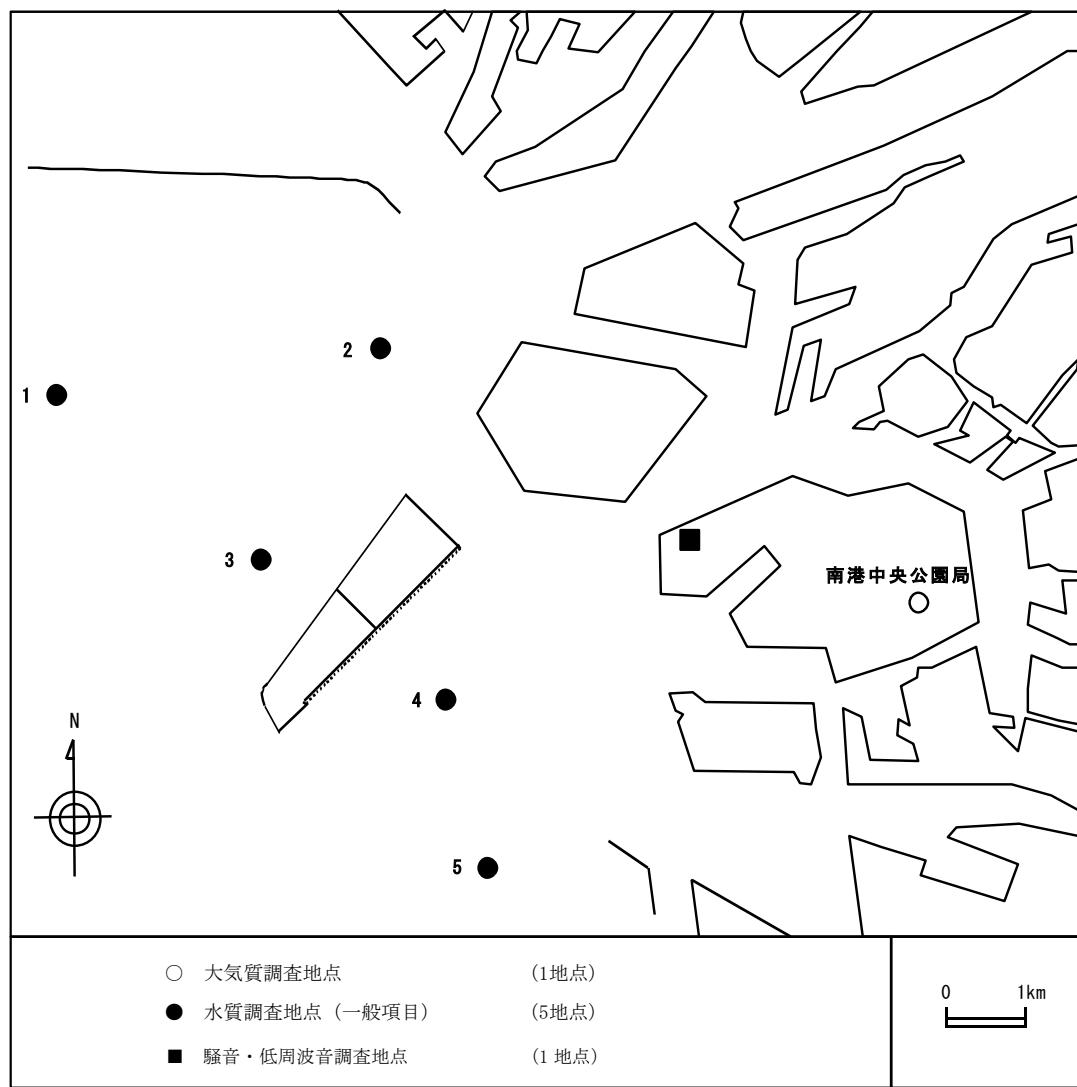
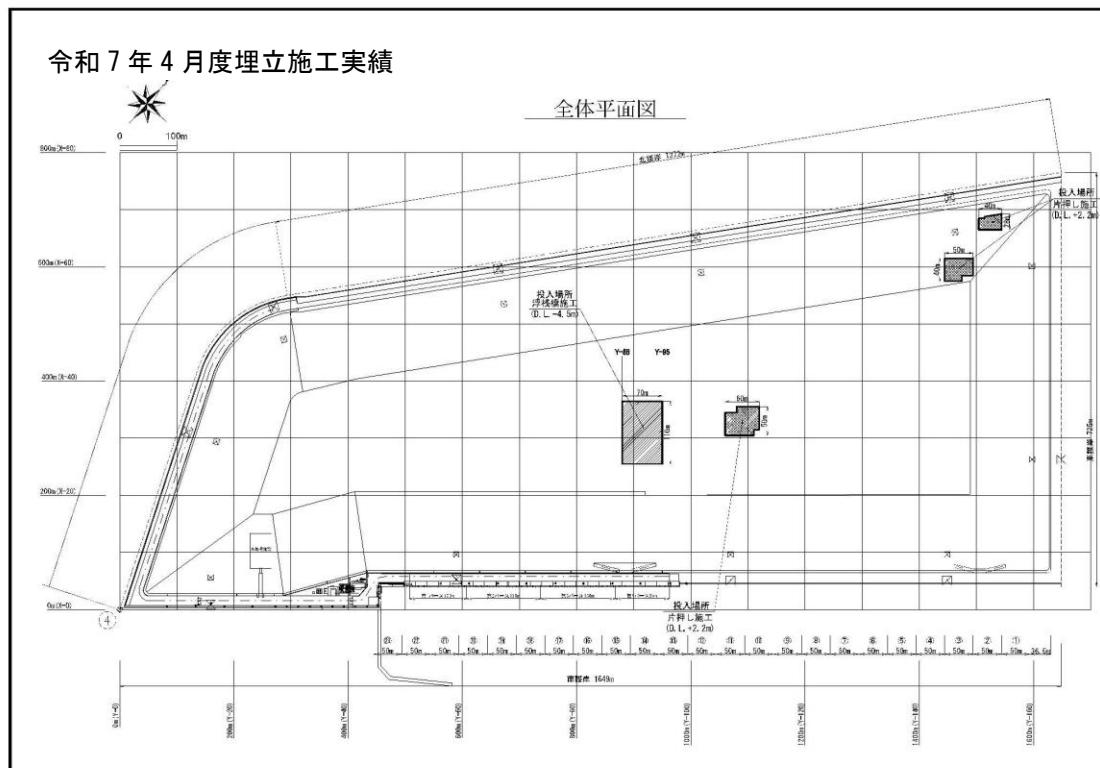


図-1 大気質・水質(一般項目)、騒音・低周波音の調査地点

2. 工事の実施状況

令和7年4月の工事の実施状況は、図-2に示すとおりである。



埋立量(m^3)	進捗率(%)
8,153,631.1	58.3

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m^3

図-2 工事の実施状況（大阪沖処分場平面図）

3. 調査結果の概要

埋立地周辺における調査

(1) 大気質 [大気質様式第1号～8号]

1) 二酸化硫黄 (SO₂) 【環境基準値：日平均値 0.04ppm 以下、1時間値 0.1ppm 以下】

二酸化硫黄 (SO₂) の月平均値は、0.003ppm であった。また、日平均値の最高値は 0.004ppm、1時間値の最高値は 0.007ppm であり、環境基準値を下回っていた。

2) 二酸化窒素 (NO₂) 【環境基準値：日平均値 0.04～0.06ppm のゾーン内またはそれ以下】

二酸化窒素 (NO₂) の月平均値は、0.021ppm であった。また、日平均値の最高値は 0.034ppm であり、環境基準値を下回っていた。

3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値 0.10mg/m³以下、1時間値 0.20mg/m³以下】

浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.018mg/m³ であった。また、日平均値の最高値は 0.030mg/m³、1時間値の最高値は 0.055mg/m³ であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

(2) 水質

①一般項目 [水質様式第1号]

1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8以上 8.3以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層で 8.2～8.4、下層で 8.0～8.1 であり、上層では一部の調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値の範囲内であった。

環境基準値を上回った調査結果は、上層の調査地点 1 (8.4) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は上層で 7.7～8.6 であり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L 以下】

化学的酸素要求量 (COD) は上層で 3.0～4.3mg/L、下層で 1.9～2.7mg/L の範囲であり、上層ではほとんどの調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 1 (4.3mg/L)、調査地点 2 (4.1mg/L)、調査地点 3 (3.5mg/L) 及び調査地点 4 (3.9mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は上層で 1.6～4.9mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L 以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で 10～12mg/L、下層で 7.8～8.6mg/L の範囲であり、上層及び下層ともに全ての調査地点において環境基準値を上回っていた。

4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値 : 0.6mg/L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で 0.37~1.1mg/L、下層で 0.24~0.37mg/L の範囲であり、上層では一部の調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 2, 4 (1.1mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は上層で 0.46~2.1mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

5) 全燐 (T-P) 【環境基準値 : 0.05mg/L 以下】

全燐 (T-P) は上層で 0.036~0.085mg/L、下層で 0.030~0.044mg/L の範囲であり、上層では過半数の調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 1 (0.085mg/L)、調査地点 2 (0.082mg/L) 及び調査地点 4 (0.076mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は上層で 0.021~0.15mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

6) 濁度

濁度は上層でいずれも 3 度(カドン)、下層で 2~3 度(カドン)の範囲であった。

7) 浮遊物質量 (SS)

浮遊物質量 (SS) は上層で 7~10mg/L、下層で 3~7mg/L の範囲であった。

8) クロロフィル a

クロロフィル a は上層で 6.0~18 μ g/L、下層で 2.9~8.0 μ g/L の範囲であった。

(3) 騒音・低周波音 [騒音・振動様式第 1 ~ 4 号]

1) 騒音 【環境基準値 : 昼間 60 デシベル以下、夜間 50 デシベル以下】

騒音レベル (L_{Aeq}) は、昼間（午前 6 時~午後 10 時）は平均値 46 デシベル、夜間（午後 10 時~午前 6 時）は平均値 42 デシベルであり、昼間・夜間ともに環境基準値を下回る値であった。

2) 低周波音

低周波音圧レベル (L_{50}) は、作業時間帯（午前 9 時~午後 6 時）において平均値 71 デシベルであり、環境影響評価時の予測値（73 デシベル）を下回る値であった。図-3 に低周波音圧レベルの時間推移を示す。

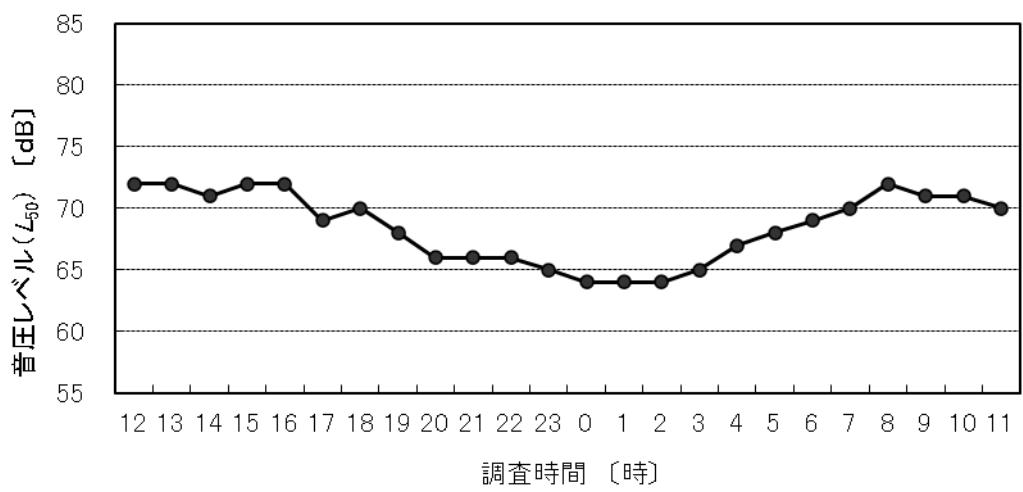


図-3 低周波音圧レベル(L_{50})の時間推移

《参考》

■環境基準値等（本報告関係分）

1. 環境基準

(1) 大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO ₂)	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。
二酸化窒素 (NO ₂)	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること。

(2) 水質

①水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度 (pH)	7.8以上8.3以下
	化学的酸素要求量 (COD)	3mg/L以下
	溶存酸素量 (DO)	5mg/L以上
	n-ヘキサン抽出物質（油分等）	検出されないこと
III	全窒素 (T-N)	0.6mg/L以下
	全磷 (T-P)	0.05mg/L以下

注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及びn-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全磷の基準値は年間平均値である。

2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。

公共用水域における環境基準（BOD又はCOD）の評価方法について（昭和52年環水管52号）

(1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75%水質値」を用いるものとする。

75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ0.75×n番目（nは日間平均値のデータ数）のデータ値をもって75%水質値（0.75×n番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。

(2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち75%以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。

(3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について
これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

(3) 騒音（道路に面する地域以外の地域）

地域の 類型	基準値	
	昼間	夜間
C	60 デシベル以下	50 デシベル以下

注) 1. 時間の区分は以下のとおりである。

昼間：午前 6 時～午後 10 時 夜間：午後 10 時～午前 6 時

2. 騒音の評価手法は、等価騒音レベルによるものとし、時間の区分ごとの全時間を通じた等価騒音レベルによって評価することを原則とする。

2. 事業実施前調査結果（平成 12 年度・水質（一般項目））

項 目	区 分	事業実施前調査 (平成 12 年度・調査地点 1～5)	
		最小値 (m/n)	最大値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [−]	上層	7.7 (13/60)	～ 8.6 —
	下層	7.8 (0/60)	～ 8.3 —
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	1.6 (34/60)	～ 4.9 3.2 ～ 3.9 (5/5)
	下層	1.2 (4/60)	～ 3.6 2.0 ～ 2.2 (0/5)
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	5.2 (0/60)	～ 14 8.6 ～ 9.8
	下層	0.6 (14/60)	～ 11 6.2 ～ 6.9
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.46	～ 2.1 0.91 ～ 1.1 (5/5)
	下層	0.29	～ 0.82 0.44 ～ 0.49 (0/5)
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.021	～ 0.15 0.061 ～ 0.098 (5/5)
	下層	0.020	～ 0.25 0.038 ～ 0.063 (1/5)

注) 1. 「最大～最小」の値は、調査地点 1～5 における全調査地点の最小値と最大値を示す。

2. m : 環境基準値を満たしていないデータ数、n : 総データ数を示す。

3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小～最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における 75% 値の最小～最大を示す。

II 事後調査結果

大気質測定結果総括表 [令和7年4月分]

項目	測定局	南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	30
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	716
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	30
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	0
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	717
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
	有効測定日数（日）	30
	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	716
備考	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数（時間）	0

注: 大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

二酸化硫黄測定結果 [令和7年4月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (火)	0.003	0.003
	2 (水)	0.004	0.005
	3 (木)	0.003	0.004
	4 (金)	0.003	0.003
	5 (土)	0.004	0.005
	6 (日)	0.003	0.004
	7 (月)	0.004	0.005
	8 (火)	0.004	0.006
	9 (水)	0.004	0.007
	10 (木)	0.004	0.005
別	11 (金)	0.003	0.004
	12 (土)	0.003	0.004
	13 (日)	0.003	0.004
	14 (月)	0.003	0.005
	15 (火)	0.003	0.003
	16 (水)	0.003	0.004
	17 (木)	0.004	0.006
	18 (金)	0.004	0.005
	19 (土)	0.004	0.007
	20 (日)	0.003	0.004
値	21 (月)	0.003	0.006
	22 (火)	0.004	0.004
	23 (水)	0.003	0.005
	24 (木)	0.003	0.004
	25 (金)	0.003	0.004
	26 (土)	0.003	0.004
	27 (日)	0.004	0.005
	28 (月)	0.004	0.005
	29 (火)	0.003	0.004
	30 (水)	0.004	0.006
有効測定日数(日)		30	
測定時間(時間)		716	
月平均値(ppm)		0.003	
日平均値の最高値(ppm)		0.004	
1時間値の最高値(ppm)		0.007	
1時間値が0.1ppmを超えた時間数(時間)		0	
日平均値が0.04ppmを超えた日数(日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

一酸化窒素測定結果 [令和7年4月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (火)	0.006	0.018
	2 (水)	0.007	0.019
	3 (木)	0.004	0.007
	4 (金)	0.003	0.008
	5 (土)	0.004	0.016
	6 (日)	0.001	0.004
	7 (月)	0.002	0.005
	8 (火)	0.007	0.030
	9 (水)	0.004	0.020
	10 (木)	0.010	0.029
別	11 (金)	0.009	0.034
	12 (土)	0.001	0.007
	13 (日)	0.000	0.002
	14 (月)	0.004	0.028
	15 (火)	0.001	0.002
	16 (水)	0.002	0.005
	17 (木)	0.016	0.085
	18 (金)	0.013	0.063
	19 (土)	0.004	0.030
	20 (日)	0.001	0.003
値	21 (月)	0.002	0.006
	22 (火)	0.005	0.018
	23 (水)	0.011	0.038
	24 (木)	0.003	0.008
	25 (金)	0.004	0.020
	26 (土)	0.002	0.005
	27 (日)	0.001	0.003
	28 (月)	0.002	0.013
	29 (火)	0.001	0.003
	30 (水)	0.004	0.028
有効測定日数(日)		30	
測定時間(時間)		717	
月平均値(ppm)		0.004	
日平均値の最高値(ppm)		0.016	
1時間値の最高値(ppm)		0.085	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

二酸化窒素測定結果 [令和7年4月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1(火)	0.020	0.032
	2(水)	0.026	0.048
	3(木)	0.018	0.027
	4(金)	0.015	0.022
	5(土)	0.025	0.046
	6(日)	0.011	0.022
	7(月)	0.019	0.046
	8(火)	0.029	0.047
	9(水)	0.030	0.074
	10(木)	0.034	0.068
別	11(金)	0.025	0.043
	12(土)	0.018	0.031
	13(日)	0.010	0.024
	14(月)	0.019	0.034
	15(火)	0.010	0.025
	16(水)	0.018	0.047
	17(木)	0.031	0.059
	18(金)	0.030	0.061
	19(土)	0.020	0.042
	20(日)	0.013	0.021
値	21(月)	0.019	0.058
	22(火)	0.030	0.044
	23(水)	0.026	0.042
	24(木)	0.021	0.053
	25(金)	0.019	0.033
	26(土)	0.019	0.049
	27(日)	0.015	0.027
	28(月)	0.023	0.055
	29(火)	0.011	0.023
	30(水)	0.028	0.073
有効測定日数(日)		30	
測定時間(時間)		717	
月平均値(ppm)		0.021	
日平均値の最高値(ppm)		0.034	
1時間値の最高値(ppm)		0.074	
1時間値が0.2ppmを超えた時間数(時間)		0	
1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数(時間)		0	
日平均値が0.06ppmを超えた日数(日)		0	
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数(日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

窒素酸化物（NO+NO₂）測定結果 [令和7年4月分]

測定局		南港中央公園		
項目		日平均値		1時間値の最高値 (ppm)
		(ppm)	NO ₂ ／(NO+NO ₂) (%)	
日	1 (火)	0.027	75.7	0.048
	2 (水)	0.033	79.7	0.054
	3 (木)	0.022	83.5	0.033
	4 (金)	0.018	82.0	0.027
	5 (土)	0.029	85.7	0.053
	6 (日)	0.012	92.4	0.022
	7 (月)	0.021	92.1	0.049
	8 (火)	0.036	81.7	0.077
	9 (水)	0.034	86.9	0.094
	10 (木)	0.044	77.4	0.089
別	11 (金)	0.034	72.5	0.072
	12 (土)	0.019	93.6	0.035
	13 (日)	0.010	95.5	0.024
	14 (月)	0.024	81.8	0.061
	15 (火)	0.012	88.2	0.026
	16 (水)	0.020	89.8	0.049
	17 (木)	0.047	66.9	0.135
	18 (金)	0.043	69.6	0.124
	19 (土)	0.024	83.0	0.072
	20 (日)	0.014	93.0	0.022
値	21 (月)	0.021	90.2	0.063
	22 (火)	0.035	85.6	0.056
	23 (水)	0.037	70.9	0.080
	24 (木)	0.024	87.4	0.056
	25 (金)	0.022	83.8	0.053
	26 (土)	0.021	92.8	0.053
	27 (日)	0.016	93.9	0.028
	28 (月)	0.024	92.3	0.068
	29 (火)	0.012	93.9	0.026
	30 (水)	0.032	88.9	0.101
有効測定日数 (日)		30		
測定時間 (時間)		717		
月平均値 (ppm)		0.025		
日平均値の最高値 (ppm)		0.047		
1時間値の最高値 (ppm)		0.135		
月平均値 NO ₂ ／(NO+NO ₂) (%)		82.6		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. NO₂／(NO+NO₂)の算定方法は、下記のとおりである。

$$\text{日(月)平均値} \text{NO}_2 / (\text{NO} + \text{NO}_2) =$$

(NO及びNO₂が同時測定されている時間のNO₂濃度の日(月)間にわたる総和) /

(NO及びNO₂が同時測定されている時間のNO+NO₂濃度の日(月)間にわたる総和)

3. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

浮遊粒子状物質測定結果 [令和7年4月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値(mg/m^3)	1時間値の最高値(mg/m^3)
日別	1 (火)	0.009	0.014
	2 (水)	0.012	0.018
	3 (木)	0.007	0.013
	4 (金)	0.007	0.012
	5 (土)	0.015	0.020
	6 (日)	0.018	0.025
	7 (月)	0.018	0.021
	8 (火)	0.021	0.036
	9 (水)	0.023	0.033
	10 (木)	0.026	0.040
日別	11 (金)	0.026	0.055
	12 (土)	0.019	0.025
	13 (日)	0.013	0.026
	14 (月)	0.021	0.030
	15 (火)	0.010	0.031
	16 (水)	0.014	0.017
	17 (木)	0.024	0.028
	18 (金)	0.026	0.032
	19 (土)	0.028	0.044
	20 (日)	0.015	0.017
日別	21 (月)	0.011	0.020
	22 (火)	0.019	0.025
	23 (水)	0.012	0.026
	24 (木)	0.007	0.014
	25 (金)	0.026	0.043
	26 (土)	0.030	0.036
	27 (日)	0.024	0.036
	28 (月)	0.016	0.024
	29 (火)	0.019	0.030
	30 (水)	0.027	0.034
有効測定日数(日)		30	
測定時間(時間)		716	
月平均値(mg/m^3)		0.018	
日平均値の最高値(mg/m^3)		0.030	
1時間値の最高値(mg/m^3)		0.055	
1時間値が $0.20\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた時間数(時間)		0	
日平均値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた日数(日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

気象観測結果（風向・風速）[令和7年4月分]

測定局		南港中央公園			
項目		風速		最多風向	
		平均風速 (m/s)	最大風速 (m/s)		
		風速 (m/s)	風向 16方位	16方位	
日	1 (火)	2.2	3.4	NE	NNE
	2 (水)	1.4	2.9	WSW	NNE
	3 (木)	2.0	4.3	WSW	NNE
	4 (金)	1.8	3.3	NNE	NNE
	5 (土)	1.0	2.4	WNW	WNW
	6 (日)	2.2	4.4	WSW	NNE
	7 (月)	1.4	2.7	SW	SW
	8 (火)	1.5	3.2	WNW	WNW
	9 (水)	1.7	3.5	NNE	NNE
	10 (木)	1.4	3.0	SW	N
別	11 (金)	1.7	3.1	WNW, NNE	NNE
	12 (土)	1.2	2.1	W	NNE
	13 (日)	1.9	4.2	WNW	NNE
	14 (月)	1.4	3.1	WSW	SW
	15 (火)	3.3	6.5	W	W
	16 (水)	1.7	3.0	W, SSW	WNW
	17 (木)	1.3	3.4	WSW	WNW
	18 (金)	1.2	2.7	W	WNW
	19 (土)	1.1	2.3	W	WNW
	20 (日)	1.2	2.7	WSW	WNW
値	21 (月)	1.5	2.5	W, WSW	NNE
	22 (火)	1.0	2.4	WNW	WNW
	23 (水)	1.1	2.3	N	N
	24 (木)	1.3	2.5	NNE	NNE
	25 (金)	1.4	3.4	NNE	NNE
	26 (土)	1.1	2.8	WSW	WSW
	27 (日)	1.1	3.4	W	WNW
	28 (月)	0.7	1.8	SE	NNE
	29 (火)	1.3	3.0	WSW	NW
	30 (水)	0.8	2.2	ESE	ESE
測定時間(時間)		720			
月平均風速(m/s)		1.5			
月最大風速(m/s)		6.5			
月最多風向(16方位)		NNE			

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

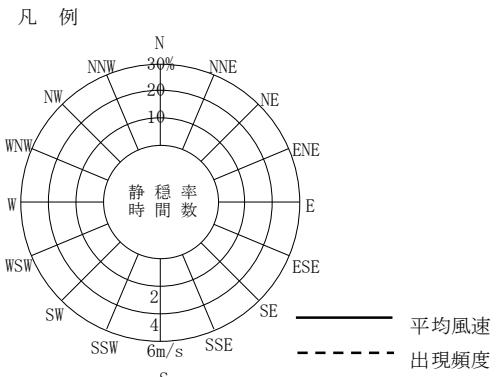
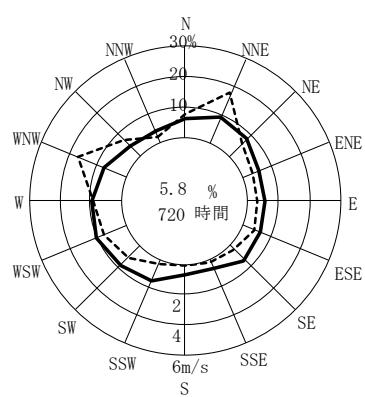
大気質様式第8号（埋立地関連）

風向別出現頻度及び風向別平均風速 [令和7年4月分]

方位 項目	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定 時間数
度 数	124	42	22	22	29	12	9	4	13	37	57	63	120	53	15	56	42	720
頻 度 (%)	17.2	5.8	3.1	3.1	4.0	1.7	1.3	0.6	1.8	5.1	7.9	8.8	16.7	7.4	2.1	7.8	5.8	-
平均風速(m/s)	1.8	1.6	1.1	1.1	1.2	1.3	0.6	0.7	1.5	1.8	2.1	1.9	1.5	0.9	0.8	1.3	0.2	-

測定期：南港中央公園局

風向風速計高さ：14.2m



注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

風配図 [令和7年4月分]

水質様式第1号

水質調査結果（一般項目）[令和7年4月分]

調査日：令和7年4月17日

項目	調査点	1	2	3	4	5	最小値	～	最大値	平均値
時刻		8:15	7:55	8:35	9:10	8:55	-	～	-	-
透明度	[m]	1.5	1.4	1.9	1.4	2.2	1.4	～	2.2	1.7
水温	[°C]	13.5 11.9	13.6 12.3	13.3 12.5	13.8 12.5	13.4 12.5	13.3 11.9	～	13.8 12.5	13.5 12.3
塩分	[−]	29.3 32.4	28.7 32.1	31.1 32.3	29.7 32.3	30.9 32.4	28.7 32.1	～	31.1 32.4	29.9 32.3
濁度	[度(カドン)]	3 2	3 2	3 3	3 2	3 3	3 2	～	3 3	3 2
浮遊物質量 (S S)	[mg/L]	9 3	7 7	10 4	7 5	8 6	7 3	～	10 7	8 5
水素イオン濃度 (p H)	[−]	8.4 8.0	8.3 8.1	8.3 8.1	8.3 8.1	8.2 8.1	8.2 8.0	～	8.4 8.1	- -
化学的酸素要求量 (C O D)	[mg/L]	4.3 1.9	4.1 2.7	3.5 2.2	3.9 1.9	3.0 2.1	3.0 1.9	～	4.3 2.7	3.8 2.2
溶存酸素量 (D O)	濃度 [mg/L]	12 8.0	11 7.8	11 8.5	12 8.4	10 8.6	10 7.8	～	12 8.6	11 8.3
	飽和度 [%]	138 91	127 89	128 98	140 97	116 99	116 89	～	140 99	130 95
全窒素 (T - N)	[mg/L]	0.38 0.24	1.1 0.37	0.41 0.24	1.1 0.27	0.37 0.30	0.37 0.24	～	1.1 0.37	0.67 0.28
全磷 (T - P)	[mg/L]	0.085 0.041	0.082 0.043	0.037 0.030	0.076 0.044	0.036 0.031	0.036 0.030	～	0.085 0.044	0.063 0.038
クロロフィルa (chl. a)	[μg/L]	18 2.9	15 8.0	7.0 4.8	13 5.9	6.0 7.0	6.0 2.9	～	18 8.0	12 5.7

注) 上段：上層（海面下1m）
下段：下層（海底面上2m）

特記事項

騒音・振動様式第1号（埋立地関連）

環境騒音調査結果 [令和7年4月分]

調査地点：野鳥園臨港緑地（南港野鳥園）

調査日時：令和7年4月21日午後0時～4月22日午後0時

時間区分	騒音レベル（デシベル）												主音源	
	L_{A5}			L_{A50}			L_{A95}			L_{Aeq}				
	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大		
昼間	49	45	55	44	42	46	41	39	44	46	43	50	鳥、車両、船舶、周辺施設	
夜間	44	42	49	40	39	43	39	37	41	42	40	47	鳥、車両、船舶	

注：1. L_{A5} 、 L_{A50} 、 L_{A95} の平均値は算術平均値、 L_{Aeq} の平均値はパワー平均値である。

2. 時間区分は、昼間は午前6時から午後10時、夜間は午後10時から午前6時までの間とする。

騒音・振動様式第2号（埋立地関連）

環境騒音調査結果 [令和7年4月分]

調査地点：野鳥園臨港緑地（南港野鳥園）

調査日時：令和7年4月21日～22日

調査時間	時間の区分	地域の類型	環境基準値	騒音レベル（デシベル）				主音源			
				L_{A5}	L_{A50}	L_{A95}	L_{Aeq}				
12:00～	昼間	C	60dB以下	48	42	40	45	鳥、車両、船舶			
13:00～				48	44	42	45	鳥、車両、船舶、周辺施設			
14:00～				52	46	44	49	鳥、車両、船舶、周辺施設			
15:00～				53	45	42	47	鳥、車両、船舶、周辺施設			
16:00～				50	46	44	47	鳥、車両、船舶、周辺施設			
17:00～				49	45	43	46	鳥、車両、船舶、周辺施設			
18:00～				52	46	44	48	鳥、車両、船舶、周辺施設			
19:00～				55	43	41	50	車両、船舶、周辺施設			
20:00～				45	42	40	43	車両、船舶			
21:00～				45	42	41	43	車両、船舶			
22:00～	夜間	C	50dB以下	45	42	40	43	車両、船舶			
23:00～				43	41	39	41	車両、船舶			
00:00～				43	40	37	40	車両、船舶			
01:00～				44	40	38	42	車両、船舶			
02:00～				42	39	37	40	車両、船舶			
03:00～				42	39	38	40	車両、船舶			
04:00～				45	40	38	42	鳥、車両、船舶			
05:00～				49	43	41	47	鳥、車両、船舶			
06:00～	昼間	C	60dB以下	49	43	40	47	鳥、車両、船舶			
07:00～				46	43	41	44	鳥、車両、船舶			
08:00～				47	42	39	44	鳥、車両、船舶、周辺施設			
09:00～				52	43	41	46	鳥、車両、船舶、周辺施設			
10:00～				49	43	40	45	鳥、車両、船舶、周辺施設			
11:00～				48	43	40	45	鳥、車両、船舶、周辺施設			
最小値				42	39	37	40				
最大値				55	46	44	50				
平均値				48	43	40	45				

注：1. L_{A5} 、 L_{A50} 、 L_{A95} の平均値は算術平均値、 L_{Aeq} の平均値はパワー平均値である。

注：2. 環境基準の評価は L_{Aeq} による。

騒音・振動様式第3号（埋立地関連）

低周波音調査結果 [令和7年4月分]

調査地点：野鳥園臨港緑地（南港野鳥園）

調査日時：令和7年4月21日午後0時～4月22日午後0時

音圧レベル (デシベル)												風速 (m/s)	
L_5			L_{50}			L_{95}			L_{max}				
平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	最小	最大
73	73	74	71	69	72	69	67	71	77	75	80	0.0	1.7

注：1. 平均値は算術平均値である。

注：2. 作業時間帯（午前9時から午後6時までの間）の結果を表している。

低周波音調査結果 [令和7年4月分]

調査地点：野鳥園臨港緑地（南港野鳥園）

調査日：令和7年4月21日～22日

調査時間	音圧レベル (デシベル)				風速(m/s)	
	L_{5}	L_{50}	L_{95}	L_{max}	最小	最大
12:00～	74	72	68	76	0.3	0.9
13:00～	74	72	69	75	0.0	0.9
14:00～	73	71	71	77	0.0	0.9
15:00～	74	72	71	79	0.0	0.2
16:00～	74	72	70	80	0.0	0.9
17:00～	73	69	67	78	0.0	1.4
18:00～	77	70	68	87	0.0	0.0
19:00～	75	68	66	87	0.0	1.0
20:00～	70	66	64	79	0.0	2.3
21:00～	69	66	65	82	0.0	1.2
22:00～	68	66	64	71	0.0	1.8
23:00～	69	65	64	77	0.0	0.9
00:00～	65	64	62	69	0.0	1.1
01:00～	68	64	63	72	0.0	0.4
02:00～	65	64	63	67	0.0	0.0
03:00～	67	65	64	68	0.0	0.1
04:00～	68	67	66	69	0.0	0.9
05:00～	70	68	67	72	0.0	1.7
06:00～	72	69	67	73	0.0	1.0
07:00～	71	70	68	74	0.0	1.4
08:00～	74	72	71	75	0.0	1.7
09:00～	73	71	69	75	0.0	1.6
10:00～	73	71	69	78	0.0	1.7
11:00～	73	70	68	78	0.0	0.0
最小値	65	64	62	67	0.0	0.0
最大値	77	72	71	87	0.3	2.3
平均値	71	69	67	76	0.0	1.0